

内部評価項目（令和6年度）

- 基本目標 確かな学力をはぐくみ、自ら課題を見つけ主体的によりよく  
解決できる力の育成をめざします
- 基本目標 豊かな心をはぐくみ、健やかな身体と体力の増進に努める  
たくましい人づくりをめざします
- 基本目標 安心・安全で、魅力ある教育環境づくりをめざします
- 基本目標 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上  
をめざします

【評価基準】 A:十分なされている B:概ねなされている C:あまりなされていない D:なされていない

基本 目標	項 目	評 価 内 容	令和6年度1学期(%)				令和5年度1学期(%)				84年度1学期との比較			
			A	B	C	D	A	B	C	D	A評価	C評価		
3	(1)組織的な 学校運営	1 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	77%	23%			79%	21%						
		2 自分の校務分掌について、計画・実施・反省を行い次回につなげたか。	54%	46%			50%	50%						
		3 校務の効率化が図られているか。	23%	62%	15%		29%	71%				▲		
		4 保育所・小学校・中学校・高校等の連携がうまく図られているか。	39%	62%			14%	71%	14%		○	C改善		
1・2	(2)学習指導の 充実	5 ロードマップに沿った学力向上対策が実施できたか。	46%	54%			46%	54%						
		6 ゴールの姿をイメージして、授業できたか。	67%	33%			54%	46%			◎			
		7 朝自習や朝読書等の充実が図られたか。	75%	25%			50%	50%			◎			
		8 学習規律や学習習慣についての指導ができたか。	67%	33%			43%	36%	21%		◎	C改善		
		9 家庭学習・家庭読書についての指導ができたか。	31%	69%			39%	61%						
		10 外国語活動の充実を図られたか。	23%	69%	8%		36%	55%		9%	▲			
		11 道徳の授業の充実を図られたか。	31%	69%			25%	75%						
		12 体力向上に向けた取組(スポチャレや業間の取組を含む)ができたか。	54%	39%	8%		54%	39%	7%					
		13 読書活動を推進し、読書量増加につなげることができたか。	62%	31%	8%		58%	42%						
		14 一人一台タブレット端末を活用した授業(指導)ができたか。	69%	23%	8%		54%	46%			◎			
		1・2	(3)生徒指導の 充実	15 生活目標に対して、具体的取組ができたか。	46%	46%	8%		46%	54%				
				16 特別支援教育で、児童生徒のニーズに応じた支援が図られたか。	54%	46%			36%	64%			◎	
				17 挨拶、ことばの違いについて指導できたか。	31%	69%			29%	71%				
				18 清掃指導ができたか。	31%	69%			14%	86%			○	
19 食育を行い給食指導ができたか。	39%			62%			23%	77%			○			
20 「いじめ」について、予防・把握・指導ができたか。	50%			50%			36%	64%			◎			
21 「不登校」について、予防・把握・指導ができたか。	62%			38%			43%	57%			◎			
22 児童理解について、共通理解が図られているか。	62%			38%			79%	21%			△			
4	(4)家庭地域との 協働	23 家庭・地域への情報発信(新聞、学級だより、ホーム ページの更新)が行われているか。	62%	38%			64%	36%						
		24 教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見を取り入れ ようと(受信)しているか。	46%	46%	8%		42%	29%	29%					
		25 児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけている か。また、児童生徒は参加しているか。	39%	62%			67%	33%			▲			
3	(5)その他 (職員の服務態度)	26 教職員は、互いに協力しながら児童の指導をしているか。	85%	15%			100%				△			
		27 教職員は、服装、髪等児童生徒の模範となっているか。	69%	31%			79%	21%			△			
		28 教職員は、危機管理に対する意識を持ち、有事に直ちに対応しているか。	85%	15%			64%	36%			◎			
		29 教職員は、働き方を意識し、業務の効率化に取り組んでいる。	23%	54%	23%		43%	50%	7%		▲	▲		

A評価が4割程度を超えた項目	19	19
C・D評価があった項目	8	6

○昨年度1学期より10%アップ ◎昨年度1学期より10%アップし、4割超  
△昨年度1学期より10%ダウン ▲昨年度1学期より10%ダウンし、4割なし

結果と考察

- ・A評価において、◎や○になった項目が29項目中11項目あった。
- ・CやD評価において、改善が見られた項目が2項目あった。
- ・C評価において、▲や△になった項目が2項目あった。

年度開始の1学期として「計画的な研修」「朝自習等の充実」「教職員間の協力」「危機管理」においてA評価の割合が高いことは評価できる。また、生徒指導関係の項目では改善傾向が見られる。

学習指導関係で学校研究に関する項目は評価は比較的高いが、その他の項目でC評価が見られる。「外国語活動」「体力向上」「読書活動」「端末活用」の取組の共通理解・共通実践を図っていく。